

製品名: Bad Rabbit ポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00030**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 18 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAD
別名	BAD; BBC6; BCL2L8; Bcl2 antagonist of cell death; BAD; Bcl-2-binding component 6; Bcl-2-like protein 8; Bcl2-L-8; Bcl-XL/Bcl-2-associated death promoter
遺伝子 ID	572
SwissProt ID	Q92934
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

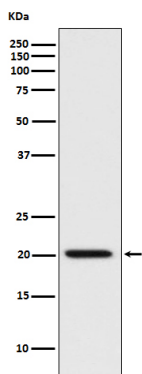
背景

細胞死を促進する。Bcl-X(L)、Bcl-2、Bcl-Wとの結合を競合し、これらのタンパク質とBAXのヘテロ二量体形成レベルに影響を与える。Bcl-X(L)の細胞死抑制活性を逆転させることができるが、Bcl-2の細胞死抑制活性は逆転させない（類似性に基づく）。増殖因子受容体シグナル伝達とアポトーシス経路を繋ぐ役割を果たすと考えられる。

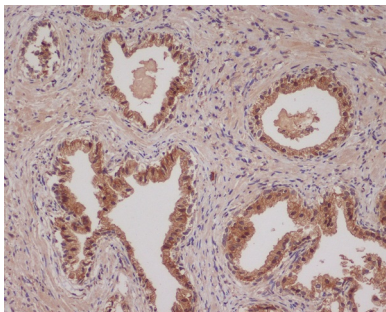
研究分野

細胞生物学

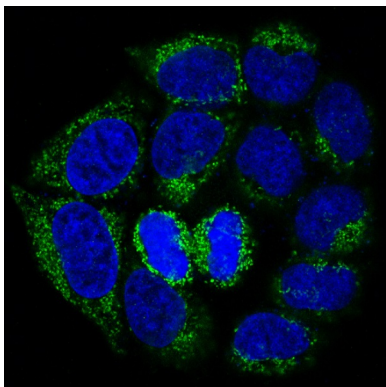
画像データ



Bad 抗体を使用した HeLa 溶解物中の BAD のウェスタン ブロット分析。



Bad 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Bad 抗体を使用した HeLa 中の Bad の免疫蛍光分析。